

市會は四月三十日 吾等の一票をもつて、生活に直結した地方政治の浄化と実現に協力しよう。

人員整理と経過の實相

豫定通り終局見込確實

市の人員整理は、市当局として最初から方針に変わりなく進行せしめ、方針に於ける見込である。その方針を去る三月五日に発表し、以来今日までの間に市組織の随分影響等があつたが、当局の措置方針は一切に影響を蒙らず、市職は昨日一掃解除を公表した。その間自分としては、必要に応じて打つべき手は一向二持つていたが、運動外観の如何に拘らず、事態はその手を打ち出す迄の必要を認めず、幸い今日に至つた次第である。

かかる次第で、本問題は、も早過ぎるものとなりつたのである。今日更には多く云うを好まない。たゞ今更には中間に可成りの流言浮説もあつたので、市民及関係各位への私の職務として、一応経過の概要を摘録して、事実を明らかにして置きたいと思ふ。

(一) 整理目標

整理目標は、各般の事情を慎重勘案して、職員三十名、日雇職三十名見込である。その内職数は部内職職に向け、今日迄自発退職が十名内外、これは、愈々の勧告及それ以上に及ぶ必要は、僅少で済む予想である。

(二) 処理経過の實相

一、当市財政再建に當つても、この人員整理は最後の最後として、出来る限り避けたい方針で来た。然し再建第一の三年度予算の實際編成を進めて来た最末迄に至り、結局恐れたものが遂に來て決意を余儀無くせられた三月五日全庁員を集め一々の実情を公示し、その請求を求めた。

二、その後、職制執行部とは、求められる儘撤回の意見を以て、退職条件の妥結を見た。その主なるもの左の通りである。

一、退職金は本給を二引上げ整理退職計算とし、之に更に一ヶ月分を加算する。

二、退職金は退職命令と同時に交付する。その時期は凡そ三月末日以前に退職条件を交付したのだから、話は大体円滑に進むものと考へていた。



宇治工業 丸田 秀夫

宇治は一口に茶とて、美術上、又自然の美しさの上から、豊かな宝庫であることは、今更に申すまでもない。従つて四季を通じて観光に、研究に、宇治を訪れる人が絶え間ないことも当然である。

この文学的と云える土地宇治に、一見不調和と思はれる工場が、

の後、市職長達の口取りで、執行部と思はれ面談をしたが、話の内に六ヶ月間延期の希望があつたが、ふと三月月位はの気が差したが、それさえ向うはつかまず、自分は此職に望んでこれ以上話し合ふ氣も無く、深夜帰宅。十八日市會開議の頭、臨時議案修正案を提出し、議案の臨時支持に賛成する可決を得た。これで万事の体制は整つたのである。

七、十八日全庁員中の大半が、安心自発退職の聲援の促進を願ひ、自発退職の申請書の提出を催し、次で二十八日迄に残余の未申出者に對し勧告発動し、書面、面談等無数の方法を以て之を行つた。今日に至つては、極めて近期内に予定の終局を見通して、三月三十一日市職より一掃解除を通知して来た。

以上が経過の概要である。思うに、今更に余りにも確乎たる自信を以て進み切ることが出来た。何と云へば、職制に對しては、足許の市の事情は絶対的だ。背後には、良識幾人の理解がある。即ち前後左右確乎不拔の基礎にあるを信じてからである。斯かる条件下に、事の敗れる訳はない、而も冷厳な一点の私情を挿んではいけない。斯くて素より退きゆく人々を思うの情は萬々だが、全期間を通じて不思議と「闘争」だの「決裂」だの、感じを持つたこともなく、終始坦々たる心境であつたことを告白する。されば、この結局の線は、遂に終りにの礎を通したものであつた。異々も良識各位の諒解を望むが、

が数ヶ所あるが、このことは、宇治のもつ静と動との両面として考へるときに、あながち不似合でもないやうだ。

すべて文化のもつ、この静的と動的の両面が、この宇治の實体をなすことを思うと、どの工場もその今後に期待されると、新大である。

新大工業がバスの生産に転換したのは、戦後のことである。換したのには、戦後のことである。すでに全国バス生産の三分の一を上げて居り、鉄道に代るの時代の交通機関として、今日のバス全盛期をむかへ、大きく云えば日本の足に大きな貢献をしたのである。これから宇治を訪れる観光バスについても、

この大地漸く下せんとす
白梅に何心憂きあるべきや
春光の丘を耕す一人かな
植樹祭

四月五日大谷山即吟
翠かや山野も憐れし
露の谷をへたて、植樹祭

十九日東京博物館へ送られ同館で永久保存される。

池本水也

と育つ様な条件を持つた土を作る
ことである。
それを証に我々は米作日本一を誇る人々の栽培法に目を注いでみるとそこには条件の不適もあるが、その常識は決して一年で築き上げられたものではなく、水年たためる努力による土との闘作らなければ、折角与えた肥料も無駄になる訳である。

要するに、もつと力を土に注ぐことが、今後稲作の一つの重要な事である。皆さんが心に決めていただきたい。即ち腐植を増やすことが先決問題である。そして土をよくするためには

1. 耕土を深くする
2. うまや肥の増施を図る
3. 客土をす
4. 灌溉排水の便を良くする

以上の問題について、力一杯やつていただきたい。中には肥料がない。材料がないと云われる方もあるかも知れないが、何事をするにも火鉢をたいては出来ない。研究と努力をすることのみが解決の鍵である。

そして稲の根は農家の経営を物語つて居る様に、恥づかしくない立派な根を作る条件の土に築き上げる様、今の中から頑張つていたさうだ。

農林課

壁面模写の完成

近く鳳凰堂立柱式

かねて解体修理中の国宝鳳凰堂は殆ど基礎工事を終り四月中旬を期して立柱式をあげる運びになつて居るが、堂内の三面の壁面は昨年八月から、原因の模写が行われ市内松本道夫画伯らの手でこの程完成を見たので、去る二十六日平内院集議庫にかゝり、関係者の内覧が行われた。尚模写は去る二日のバスが、必ずあることを、市民の方にも御承知がたい。互に池干拓地もその一つだが宇治には見逃せぬ。わが國が農業によつて立つて居ることは、言葉に待たない。戦後は盛んに農業の機械化が叫ばれ、格段の飛躍を見たのであるが、当社の「ツツコエ」が、そこ

闘茶會は

宇治が第一位

府連合茶葉青年團では、三月十五日先道二校で總會をおこなつた。午後開茶大会の得点は、宇治、小倉、原郷、東宇治、泉東、兩丹、京都、上野の順位。

この大地漸く下せんとす
白梅に何心憂きあるべきや
春光の丘を耕す一人かな
植樹祭

と育つ様な条件を持つた土を作る
ことである。
それを証に我々は米作日本一を誇る人々の栽培法に目を注いでみるとそこには条件の不適もあるが、その常識は決して一年で築き上げられたものではなく、水年たためる努力による土との闘作らなければ、折角与えた肥料も無駄になる訳である。

静の宇治から、動の宇治へ、
吾々の自負を誇らねて、宇治市の編纂者、責をばたしたい
(新日園工業常務取締役 京都工場長)

青年弁論大会
市教育委員会、青年団共催による第一回辯論大会は、去る二十七日午後一時から宇治中学校で開催され、各地区よりの出場辯士十五名が参加熱戦をふるつた。

入選は
飛田保雄、市井栄美子、本耕田良雄、角田彰三、古市勝

煙草の移植
市の煙草栽培は、湿度苗も順調に成長し今後の成果が大いに期待されて居るが、本月中旬より、本圃への移植が行われ、適期に育苗を移植する事が種草耕作成功の鍵であり、移植作業については生産農家は次の点に注意して下さい。

● 移植に適する苗、細根がよく発達して土が十分で茎の太く、徒長せず全体が小出来に定まるもの(葉数十一枚、茎丈一寸一分、最大葉の長さ四寸)を移植

市連合母子會
成績をあげる洗濯部
市連合母子會は去る二十七日午後十時から、菟道第二校で總會を行い、午後は各支部委員による余興の和やかな一日をすごしたが、事業部の洗たく場は好成绩をあげて居り、向一般に周知をはかつて

生活改善
普及員かわる
宇治地方事務所生活改善普及員は、このほど福喜から築山エミ子氏が転任した。



宇治百話 (その1)

宇治描寫の一節

蘆花の「不如歸」と
は麦の穂末を渡る白帆にあらわれ...

宇治市と観光文化

(其の三)



紅葉の秋として人に知られてい...

市民文藝
武内つた
夜の町をジゼルカーの過ぎ...

防除揮掃
まあたらしい帽子
もうれしく、帽子...

古文学にあらわれた宇治は、古...

すべて事業は、企画とか計画と...

公民館めぐり
青年の力で建った
笠取公民館

市民文化の集い賑わう
写真展の一部(三月五、六日)

市民文藝
武内つた
夜の町をジゼルカーの過ぎ...

防除揮掃
まあたらしい帽子
もうれしく、帽子...

そこえくると明治この方のもの...

公民館めぐり
青年の力で建った
笠取公民館

市民文化の集い賑わう
写真展の一部(三月五、六日)

市民文藝
武内つた
夜の町をジゼルカーの過ぎ...

防除揮掃
まあたらしい帽子
もうれしく、帽子...

防除揮掃
まあたらしい帽子
もうれしく、帽子...

徳富芦花の不如帰、これは芦花...

公民館めぐり
青年の力で建った
笠取公民館

市民文化の集い賑わう
写真展の一部(三月五、六日)

市民文藝
武内つた
夜の町をジゼルカーの過ぎ...

防除揮掃
まあたらしい帽子
もうれしく、帽子...

防除揮掃
まあたらしい帽子
もうれしく、帽子...